

内閣人事局と日本国家公務員労働組合連合会とのやりとり（概要）

日 時 令和5年3月24日（金）13:25 ～ 13:40
場 所 合同庁舎8号館 共用会議室
出席者 先方）九後委員長、中本副委員長、浅野書記長 外3名
当方）窪田人事政策統括官、松本内閣審議官、山村総括参事官
案 件 春闘期要求書に対する最終回答

国公労連

2月17日に春闘期に係る4本の要求書を提出して以降、各レベルでの交渉を重ね、先週は中間回答をいただいたところだが、その後の検討を踏まえた最終回答をいただきたい。

内閣人事局

本日は、大臣が御多忙のため、私から、これまでの検討結果を踏まえた大臣の最終回答をさせていただく。

長時間労働を是正することは、優秀な人材の確保のためにも必要なことと考えている。国家公務員の働き方改革を実現するため、様々な取組を進めていくので、皆様方のご協力をお願いしたい。

令和5年度の給与については、人事院勧告を踏まえ、国政全般の観点から検討を行い、方針を決定したいと考えている。その際には、皆様とも十分に意見交換を行いたい。

非常勤職員の処遇改善については、常勤職員の給与改定に準じて改定することを基本とするよう、各府省申合せの改正を行った。引き続き、適正な処遇が確保されるよう、関係機関とも連携して、必要な取組を進めてまいりたいと考えている。

自律的労使関係制度については、多岐にわたる課題があることから、皆様と誠実に意見交換しつつ、慎重に検討してまいりたいと考えている。

最後になるが、今後とも職員団体とは誠意を持った話し合いによる一層の意思疎通に努めてまいりたい。

なお、その他の課題については、前回、私から申し上げたとおりである。

国公労連

これまで主張してきた観点などを踏まえれば、私達の切実な要求に正面から回答しておらず、極めて不満である。

2023年春闘期の交渉は、本日をもって一区切りとなるため、夏の概算要求における課題なども含めて、改めて国公労連の要求を主張する。

(1)賃金等の改善について

先週15日は、この春闘の賃金交渉における大企業を中心とした集中回答日であった。多くの企業で満額回答や労働組合の要求を上回る回答が相次ぎ、全体で3%を超える賃上げも期待されている。

しかしながら、本年1月の消費者物価指数は前年同月比で4.2%上昇し、上昇率は1981年9月以来の高水準となった。今後も生活必需品の値上げが予定されており、生計費水準が高止まりするおそれもある。この春闘相場をもってしても、現在の物価高騰を上回る賃上げには至っていない。

職員の厳しい生活実態は早急に改善されるべきであり、41年ぶりの物価上昇率という深刻な事態にあつては、人事院勧告の尊重に固執した従来の姿勢を見直すことも検討すべきである。改めて直接の使用者である政府が「政策的な賃上げ」を主導し、緊急的な賃金改善を実現するよう求める。

先週15日の政労使の意見交換においては、中小企業の賃上げのための労務費の転嫁や非正規労働者の賃上げの重要性、本年中に最低賃金の全国加重平均1,000円を達成することなどが確認された。初任給をはじめとした若年層の官民格差のさらなる拡大が懸念される。

また、これまで指摘してきたとおり、民間企業は、将来的な労働力人口の減少を見据え、優秀な人材を確保するため、企業利益の確保よりも労働者の賃上げを優先しつつある。2023年度の新規学卒者の就職活動が開始されているところ、この春闘期の民間企業の賃上げは、職業選択に当たっての重要なインセンティブである。先日のマスコミ報道では、ある人材情報会社が来春卒業予定の大学3年生にインターネット調査をしたところ、就職先を決める際に初任給引上げを意識するとした回答が76.7%であったと報じられていた。夏以降が中心となる国家公務員の採用には、相当のハンディキャップになる側面もある。改めて、急激な物価上昇などに迅速に対応できない人事院勧告制度の限界を指摘せざるを得ない。

最低でも夏の人事院勧告に基づき、職員の労働と生活の実態に見合った、全ての世代を対象とする大幅な月例給・一時金の引上げを実現するとともに、諸手当の支給要件や水準を改善し、公務に優秀な人材を確保すべきである。

(2)労働時間短縮、休暇制度など働くルールの確立について

労働時間に関わる職場環境の改善に当たっては、①業務に見合った人的体制の確保、②客観的な勤務時間の把握、③労働者本意の「柔軟な働き方」の実現、④公務の特性である集団的執務体制の維持などが不可欠である。とりわけ勤務間インターバルの確保は、職員の健康保持・増進を実現するための有効な仕組みとなり得るため、勤務時間制度として確立するための検討を早期に開始するよう求める。

また、いわゆる他律的部署が増加傾向にあるところ、労働時間の短縮に当たっては、その指定の在り方などを是正する観点も不可欠である。

さらに、テレワークに関する給与面での対応については、「柔軟な働き方」の実効性を担保するための措置として極めて重要である。中途半端なものとならないよう、財務当局などとも連携して必要な措置を講じることを求める。

(3)非常勤職員の給与について

「非常勤職員の給与に係る当面の取扱いについて」を改正し、常勤職員との均等・均

衡待遇を図ったことは一定評価するものの、その実現に至るまでのプロセスや時期などには課題を残した。

また、これまで非常勤職員の給与は、各府省の予算事情や裁量などに左右され、不平等な取扱いとなっていることも指摘されてきた。改正された「申合せ」が適正かつ統一的に運用されるよう、各府省への指導などを強化することを求める。

さらに、「申合せ」の実効性を確保するため、各府省に毎年度の必要な予算が確保されるよう、財務当局などとともに必要な措置を講じることを求める。

先週17日の岸田首相の記者会見においては、「非正規雇用の正規化」の必要性が改めて言及された。これまで指摘してきたとおり、労働契約法に基づく「無期転換ルール」などにより非正規労働者の雇用の安定を図り、労働者の権利を保障することは、社会的な要請であり趨勢でもある。

そもそも経常業務に従事する人的体制は、常勤職員により確保すべきであり、それがままならないのならば、「任期の定めのない非常勤職員」としての任用を保障すべきである。非常勤職員制度がこうした客観的な実態に適合していないことを踏まえれば、民間に準拠して現行制度を改正することこそ、国家公務員の人事管理を担う政府・内閣人事局の責務であり、現行制度の解釈や運用に固執する姿勢は、それを放棄していると指摘せざるを得ない。

非常勤職員の雇用の安定を実現するため、改めて「3年公募要件」の即時撤廃を強く求める。

(4) 国民本位の行財政・司法の確立

前日も指摘したとおり、これまでの定員削減・合理化計画が国の行政機関の機能の低下とともに、職員の長時間過密労働を蔓延させ、その健康被害などにつながってきた。非常勤職員の雇用の問題の元凶にもなっている。

「長時間労働を是正することは、優秀な人材の確保のためにも必要なこと」という回答があったものの、必要な定員が確保されなければ、長時間労働が解消されることもなく、定年引上げに伴い定年退職が2年に1回となることを踏まえれば、そもそも新規採用数を確保することもままならない。

既に指摘したとおり、民間企業は、将来的にも持続可能性のある組織を維持するため、安定的に優秀な人材を確保できるよう、企業利益の確保よりも新規採用数の確保を優先している。

2023年夏にとりまとめる「令和6年度内閣の重要課題を推進するための体制整備及び人件費予算の配分の方針」においては、必要な定員を確保するための実効性のある措置を反映するとともに、改めて「国の行政機関の機構・定員管理に関する方針」の即刻廃止を強く求める。

(5) 民主的公務員制度と労働基本権の確立

国家公務員の労働基本権について、従来どおりの回答であり、「誠実な意見交換」や「慎重な検討」の兆しすらない。

改めて、日本国憲法と国際労働基準に沿った労働基本権の全面回復と民主的公務員制度確立に向け、早急に国公労連との労使協議を開始するよう強く求める。

(6) 両立支援制度の拡充、男女平等・共同参画の推進について

先週17日の岸田首相の記者会見においては、こども・子育て政策の「基本的方向性」が表明された。主には、①男性国家公務員の1週間以上の育児休業取得率を2025年度に85%以上とすること、②一定期間の育児休業手当金の給付率を10割にすること、③育児休業に伴う所得支援を非正規労働者にも措置することなどが含まれている。

必ずしも十分な措置ではないものの、実現を期待するものであり、こうした政府の政策の推進と実効性の確保を求める。

また、国家公務員については、男女間の賃金格差とともに、昇任・昇格の格差解消も課題である。

ハラスメント対策については、とりわけ職場で少数となりがちな女性や障害者などが被害者になる傾向にある。男女共同参画や障害者雇用を推進するに当たって、あらかじめ解消されなければならない課題であることを踏まえ、より職場の実態に即した実効性のある対策を求める。

内閣人事局

皆様方の御意見はしっかりと承った。引き続き、皆様方との意思疎通に努めてまいりたい。

国公労連

双方の認識が一致しない課題も少なくないものの、2023年春闘期の交渉は一区切りとなる。夏の概算要求に向けて解決すべき課題も多岐にわたるため、今後の継続した検討とともに、国公労連との交渉・協議を求めて、本日の交渉を終了する。

－ 以 上 －

文責：内閣官房内閣人事局（先方の発言については未確認）